



NO.1

奈良県 環境森林部 脱炭素・水素社会推進課①

テーマ

サステナビリティで選ばれる
奈良の宿



サステナビリティで選ばれる奈良の宿

— 脱炭素社会の実現に向けて —



奈良県エコキャラクター

「な～らちゃん」「こな～らちゃん」

奈良県 脱炭素・水素社会推進課

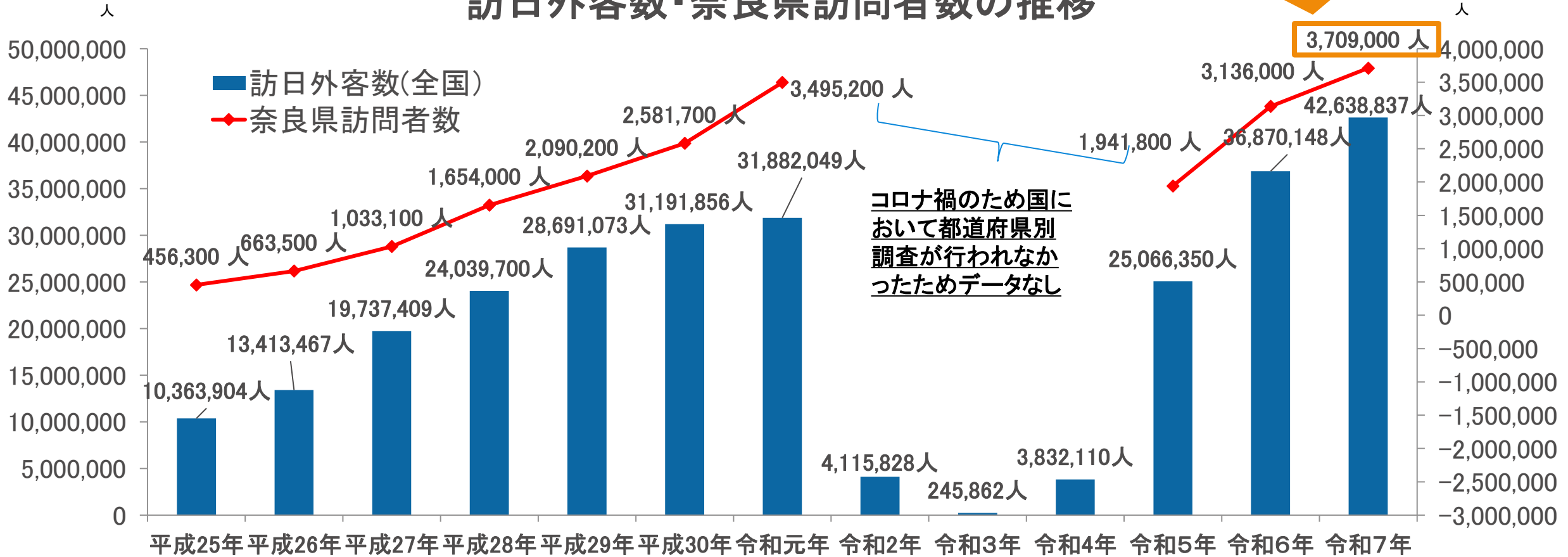
奈良県の観光データ ①訪日外客数(インバウンド)

出典: JNTO(日本政府観光局)「訪日外客数」
観光庁「訪日外国人消費動向調査」

・インバウンド数: **全国7位(令和7年:約371万人)** ※2位 大阪、4位 京都

統計を取り始めて以来
最多

訪日外客数・奈良県訪問者数の推移

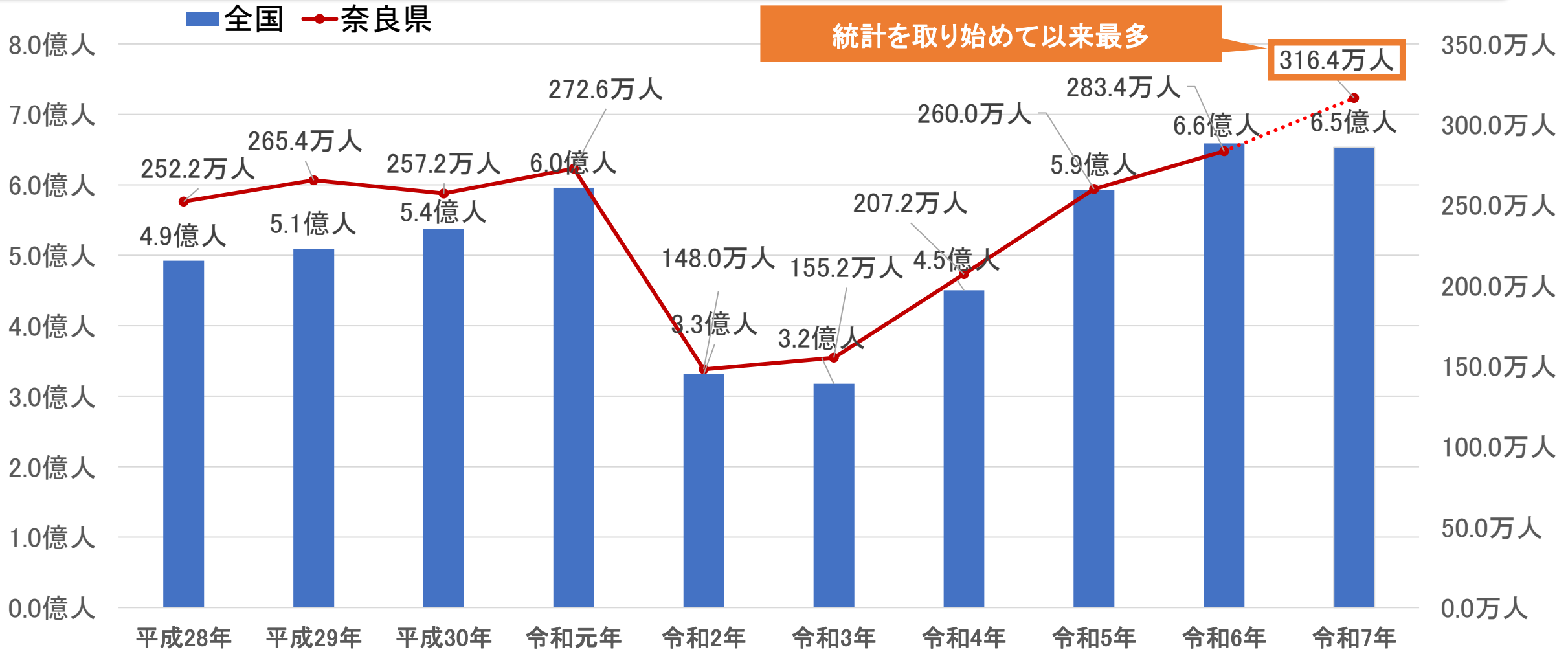


※令和2年4月～令和5年6月は調査中止のため不明

奈良県の観光データ ②延べ宿泊客数

出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」

・宿泊者数: **全国42位(令和7年:約316万人)** ※他の下位都道府県: 秋田県、高知県、鳥取県、徳島県、佐賀県





目指す姿

県内宿泊施設ひいては地域の魅力向上を図り、
サステナビリティで選ばれる奈良の宿へ



課題の背景 “サステナブル”が、旅行先選びの新たな基準に

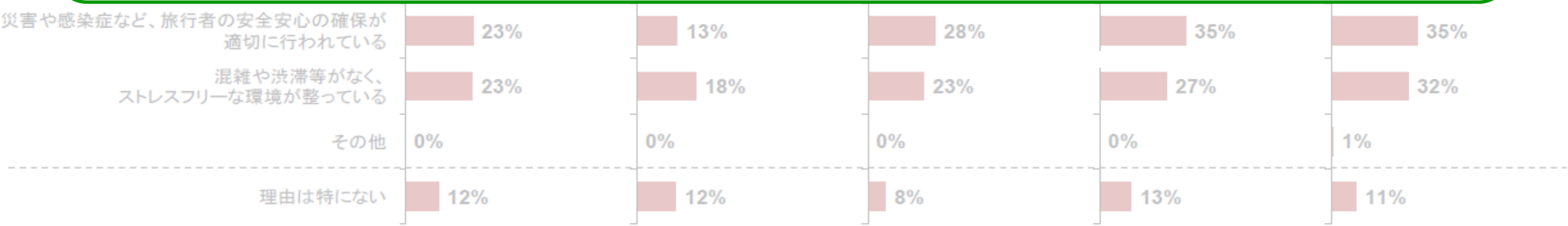
出典：観光庁：令和5年度「訪日外国人旅行者の
受入環境整備に関するアンケート」調査結果

日本が「サステナブルツーリズム」の旅行先として相応しいと思う理由
母数(n)：全回答者、複数選択

全回答者 (n=4,012) 東アジア (n=1,985) 東南アジア (n=603) 欧米豪 (n=899) その他 (n=525)

「脱炭素は“環境対策”ではなく、“選ばれる宿”の条件へ」

- ✓ 訪日外国人旅行者の約7割が、サステナブルな旅行を重視※
- ✓ 「省エネ」や「廃プラ削減・温室効果ガス削減」は、旅行先の評価項目として認識されている※
- ✓ 宿泊施設の脱炭素対応は、インバウンド誘客や地域競争力に直結



課題の背景 “サステナブル”が、旅行先選びの新たな基準に

・「サステナブルツーリズム」の回答が多い 全体(旅行業事業者)：28%、全体のうち宿泊事業者：34%

コロナ禍を経て、国内旅行、インバウンドを問わず、「新たに発達した、もしくは力を入れている」旅行・観光関連コンテンツについて

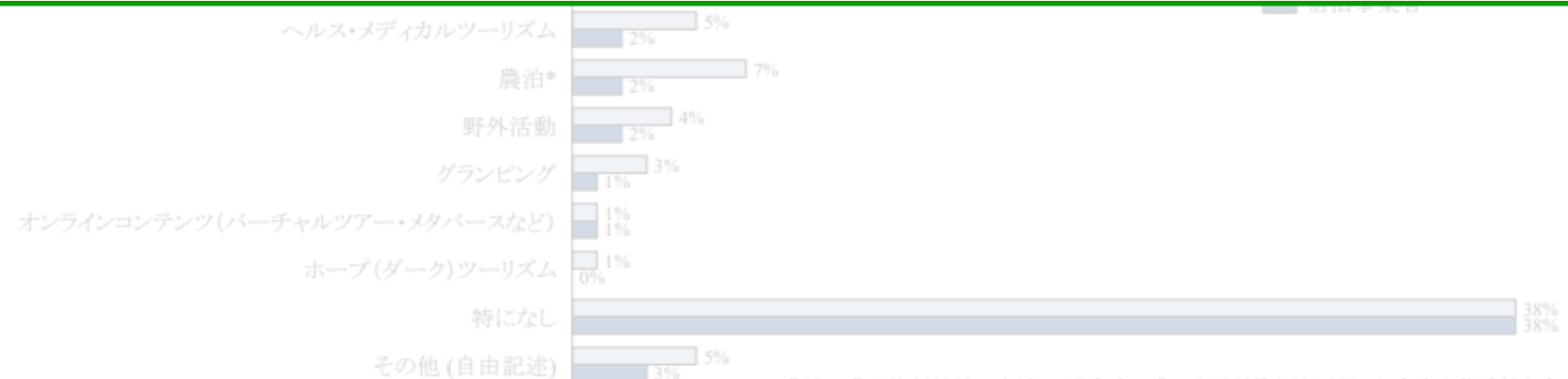
全体 n=913 / 宿泊事業者 n=169 / 共に複数回答

サステナブルツーリズム(持続可能な観光)

28%

34%

- ✓ 観光コンテンツのなかで、「サステナブルツーリズム」への関心が最も高い
- ✓ 特に、宿泊事業者による関心が高い



農泊*: 農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ

現状の取組 宿泊施設の脱炭素化は、すでに広がり始めている

【令和7年12月実施】県内宿泊事業者向けアンケート(回答数:27)

- ✓ 脱炭素の取組は“特別な取組”から“宿泊施設の新たなスタンダード”へ
※県内事業者の約5割が脱炭素の取組を実施中
- ✓ 脱炭素化の取組は、一般的にコストアップやオペレーションの煩雑化になりやすいため、革新的なアイデアと技術を持つ企業との共創が重要

■ 実施済 ■ 検討中 ■ 未実施

■ 実施しない ■ 希望者のみ ■ 毎日交換

■ 実施済 ■ 検討中 ■ 未実施

県内の先進事例 選ばれる宿は、すでに動き始めている

＜国際認証の取得＞

「Green Key」

- ・JWマリオット・ホテル奈良(令和7年10月取得)
- ・ノボテル奈良(令和8年3月取得)

「Green Globe」

- ・グランドメルキュール奈良橿原(令和8年6月取得)

- ✓ 省エネ・節水を通じたCO₂排出量削減
- ✓ 廃棄物の削減・リサイクルを推進
- ✓ 地元産品やオーガニック製品の活用 等

⇒「国際的に選ばれるホテルブランド」につなげている



環境に配慮したアメニティ



節水装置

取り組みたい共創テーマ



環境に配慮したアメニティの提供や地産地消・フードロス解消を実現するサービスなど革新的なアイデアと技術を持つ企業を募集しております。



例えば・・・

- ✓ 安価な環境配慮型アメニティや地産地消メニューを活用した脱炭素につながるスキームの提案(奈良県産材の活用を含む)
- ✓ 効率的・効果的なフードロス解消の手法(地産地消含む)
- ✓ 複合的な取組で排出される二酸化炭素の可視化及び評価システム



提供可能なリソース

01 ネットワーク

- 奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合
- ナラモリ会（県内ホテルの任意会合）
- 奈良県庁内個別ネットワーク（県内の宿泊施設や関連事業者など）

02 PR機会

- 県ホームページ、SNS、広報誌での広報
- 関連イベントでの発信

03 実証・調査基盤

- 県内宿泊事業者へのアンケート
- セミナー開催

脱炭素社会の実現に向けて
ともに宿泊施設の脱炭素化に取り組みましょう！

ご清聴ありがとうございました。



「飛鳥・藤原の宮都」石舞台古墳